



ひばり組だより



R6年
5月号

暖かな春の日差しが、心地良い季節となりました。子どもたちは、園庭に出るとアスレチックにチャレンジ！自分の力で登り切ると、とても嬉しそうにしています。鉄棒や雲梯は、まだ「1人では怖い(>_<)」という子も多いですが、保育者と一緒に練習し積極的に取り組んでいますよ。

ひばり組になり、約1ヶ月。保育者の顔ぶれが変わり、年下の友達ができたりと、様々な環境の変化があったかと思えます。これまでは1人で取り組んでいた事も何か不安になったり、「できない！」と甘えたり…様々な姿がありましたが、段々と慣れてきたように感じます！子ども達が下を向いている時には、何かの理由があるので 安心して言葉に出来るよう、一人ひとりの気持ちに耳を傾けていきたいと思えます。至らない点もあるかと思えますが、何かありましたら気軽にお声掛けください！

今月の目標

◎保育者や友達と信頼関係を築き、安心して過ごす。

◎身の回りのことを進んで行う。



お知らせ

・排泄時等に濡れた衣服を入れる小さなポリ袋(キッチンパック)は、園にあるポリ袋を必要に応じて使いますので、ロッカーに置いてある方はご家庭でご使用をお願いいたします。

*布団が濡れた時等の大きめのビニール袋や脱いだ衣服を入れる汚れ物袋は引き続きご家庭からお持ちください！



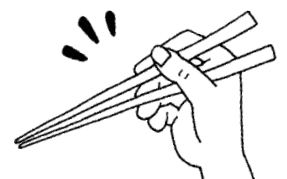
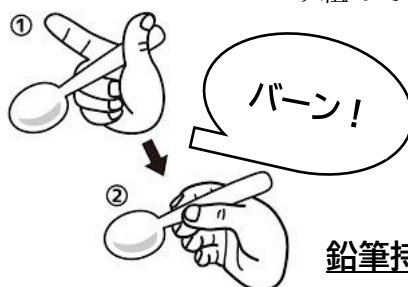
☆なんでも1番！☆

最近のひばり組さんは、何でも“1番”になる事がカッコいい！という競争心が芽生えてきました。「おかわりを～回したから、カッコいい！」「1番前に並んだからカッコいい！」という声は、集団だからこそ生まれる姿であり、他児を意識出来るようになった成長でもあります。しかし、1番を意識するが故にトラブルも増えてきました。そこで、子どもたちには「1番じゃないから“遅い” “カッコ良くない”」という事ではなく、「自分の事を最後まで一生懸命頑張れた人は、みんな素敵なんだよ」と伝えています。

子どもの姿を認めてあげる声掛けが、少しずつ友達同士への思いやりにも繋がっていきと良いと思えます◎

～食具の持ち方について～

食事の様子を見ていると、スプーンやフォークをグーで握りしめた上手持ちで持っている子や中指を添えるのが難しい様子があります。また、残ったおかず類を指で集めたり、取りづらいから捨てちゃおう…という姿もあります。そこで「バーン！の指出来る？」と親指と人差し指に中指を添える“鉛筆持ち”を伝えています。箸を3点で持つ為にも、少しずつ正しい持ち方が身に付くように、伝えているのでぜひ、ご家庭でも一緒に取り組んでみてください♪



鉛筆持ち



箸の練習☆